

紙 碑

被爆老人のあかし



広島原爆養護会一〇

紙 碑

—被爆老人のあかし—

第 三 集

広島原爆養護ホーム

はじめに

時の流れは早いもので被爆後四五年、広島原爆養護ホーム開設二〇周年、一つの大きな節目を迎えました。入所者の皆さんはすべてを失われましたが、平和への願いを込めて歩いてきた道を後世に遺そうと老い行く者は考えています。

昭和五六年七月当施設開設一〇周年を記念し、入所者の方々が逃避行動と原爆障害に脅えながら、日々の自衛生活をされた状況を後世に伝えたいと体験記のご寄稿をいただき、紙碑を発刊いたしました。

第二集につきましては、開設一五周年の記念事業として、直接被爆者だけではなく、残留放射能がある市内を肉親等の安否を気遣いながら徘徊をされた入市者の方にもご寄稿を頂き、刊行をいたしました。

当施設には、毎年全国の小・中・高・大学の学生および一般の方々が非常にたくさん来所され、入所者から戦争の悲劇、原爆の恐怖等の体験談を聞き、世界平和の必要性について学習をされておられます。

このたびは開設二〇周年を迎えると共に、被爆四五周年を記念し、また入所者も年々高齢化が進み被爆体験の記憶も薄らぎ後世に実状を伝えることが困難になることを考慮いたしまして、核兵器禁止、人類の平和を祈る切なる願いを込めて第三集を刊行することといたしました。

第三集については、近距離被爆の入所者を中心に、精神的および身体的にも傷つき、長い間苦しみながら悲しみに耐えてこられた四五年の歳月を経た現在、敢えて寄稿をお願いいたしました。

被爆体験のお話をするたびに悲しい思いをされたことと思いますが、これからの高齢化社会と平和な世界を担っていかれる人達にとっては、非常に貴重な遺産であり、また幾多の教示を与えてくれることと思います。皆さんの体験談は文字どおり紙碑として、後世に長く伝え世界の平和に寄与するものであります。

紙碑編さんに当っては、(財)広島原爆被爆者援護事業団を退職された森田学氏に多大なるご協力、ご援助を頂きまして、心から感謝申しあげます。

(財)広島原爆被爆者援護事業団

原爆養護ホーム職員一同

目次

はじめに 職員一同

舟入むつみ園一般養護

患者と共に避難		安井 松恵	1
悲惨な光景		浅野 恵就	3
空は真赤に燃えていた		橋本新太郎	7
子どもに助けられ		園田 島	12
一面火の海		原田ヤチヨ	15
忘れ得ぬ水の味		松田 吾郎	20
権現様の滝の水		佐伯 クニ	24
帰らぬ子どもを待つて		安藤サツキ	28
爆風に驚いて		井上 正子	31
夫・娘を失って		塚本カズミ	33
あの飛行機が原爆を		橋倉みすぎ	36
生きながら地獄のようでした		中野ミヤノ	39

次々と発病し	脇坂 義博	42
ちえ子を抱きしめて	沖野イクヨ	45
助けを求める声にどうしようもなく	木口 愛子	49
入退院をくりかえし	宮本二三夫	52
家がぐしゃっとつぶれて	笹原みやぶ	55
原爆のショックで	石井安太郎	58
背骨の痛みがはげしくなり	本田 ツル	61
母と妹は一瞬のうちに	升田 清美	65
平和のためにつくしたい	藤堂 忠夫	68
包帯だらけの娘が帰って	玖島マサヨ	74
三男は東練兵場で	藤川コイマ	76
電鉄の工場の中で	桐原 一	79
夫は遺骨もなく	山県ハヤメ	81
子どものことが心配で心配で	加登 鶴子	85
ガラス戸がフワーと倒れてきて	山田 シヅ	89
屋根瓦が落ちてきて	佐々木寿子	92
どうしたのかわからない	後藤千寿子	95
長男が帰ってこないの	長山 ユキ	98

舟入むつみ園第一特別養護

屋根が落ちてきた	木本 末人	103
妹といっしょに	藤本チエ子	105
それはひどいにおいだった	小早川キクエ	110
似島に収容されて	竹安ヨシミ	113
目に入るものすべてが	森 アイ	116
右腕をガラスで切つて	藤本サトノ	119
衛兵交代の時刻に	森 秀男	121

神田山やすらぎ園第二特別養護

電車の中で	梶山 アイ	125
平和学習のお役に立てば	吉岡タマコ	127
勤労奉仕で	山手 節子	130
左目を失明して	三宅 寿子	132
背中痛みをこらえて	有馬トキヨ	135
救助してくれた人の安否が気になる	正木 良子	138
すさまじい悪臭が	川崎 力	141

空一面異様な閃光が	松尾 節	143
死んでいく被災者を焼く仕事が続いた	光寺 恵真	146

(表紙写真・舟入むつみ園より)

平和学習のため慰問に来所した
学生たちが励ましの言葉と別れを
告げている風景

紙碑・被爆老人のあかし 第三集

平成二年八月二十五日 印刷

平成二年八月三十一日 発行

編集兼
発行者

財団法人

広島原爆被爆者援護事業団
広島市中区舟入幸町十四番十一号

印刷 至誠堂印刷株式会社

広島市中区猫屋町二番十号

